株式会社NTTドコモ

課題名「レジリエントな防災・減災機能の強化」

研究開発課題名「災害情報の配信技術の研究開発」

研究項目[2]多様な受信者において判読可能な情報伝達技術の開発

研究計画とエリアメールについて

■本研究開発する以前のエリアメールサービス

サービス	情報の種類	配信される文章	配信者
定型エリアメール	緊急地震速報 津波警報	定型文	気象庁
自治体エリアメール	避難勧告等	定型化されていない文	自治体

■研究開発内容

研究計画1：エリアメールの多言語化、読上を行う

目標：外国人や障がい者がエリアメールの内容を理解できるよう、
多言語化と読上（読上は定型エリアメールのみ）を行う

研究計画2：エリアメールと放送波の連携を行う

目標：TV局等が有益な情報をタイムリーに被災者に通知し、被災者が簡易的に
放送波の情報を取得できることを目指す

その他の計画：調査

実施内容：外国製端末が日本国内でエリアメールを受信できるか調査する
日本製端末が海外でCBSを受信できるか調査する

定型エリアメールの多言語化

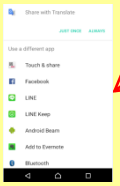
緊急地震速報の場合

Earthquake Early Warning
Strong shaking is expected soon.
Stay calm and seek shelter nearby.
(Japan Meteorological Agancy)

津波警報の場合

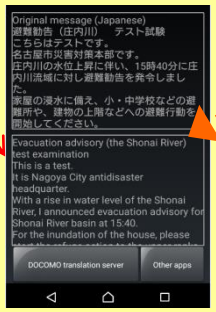
Tsunami Warning
Evacuate from coastal regions and riverside areas immediately to a safer place such as high ground or an evacuation building. (Japan Meteorological Agensy)

自治体エリアメールの多言語化



エリアメールアプリ

他の翻訳アプリと連携
普段利用している翻訳アプリとの連携が可能



翻訳サーバ

クラウド

災害・避難用語等のコーパスを作成し実装

翻訳文（英、中、韓）

ピクトグラムの表示